

## 製品・サービス動向-国内

■ブイキューブ：金融機関や FinTech 事業者  
向け「FinTech アダプター」を提供開始

(3月16日)

株式会社ブイキューブ (<https://jp.vcube.com/>) (東京都目黒区) は、金融機関や Fin Tech 事業者向けにオンライン対面コミュニケーションを Fin Tech サービスに組み込むことができる「FinTech アダプター」を提供開始する。



## FinTech アダプターを活用したイメージ (ブイキューブ)

ビジュアルコミュニケーションサービス「V-CUBE」と FinTech サービスとの連携により、金融商品や金融サービスの紹介や販売時に求められる対面での接客や商品説明をオンラインで実現する。ユーザの希望する時間や場所に合わせた柔軟な対応が可能となり、金融サービスのオムニチャネル化に貢献するという。

具体的には、資産運用や相続相談といった窓口業務の遠隔対応、遠隔営業、営業パーソンの遠隔支援などのシーンで活用できるとしている。

FinTech は、日本でも金融機関や IT 企業から高い関心が高まっているという。スマートフォンを利用した決済、口座情報との連携による家計簿や決算書の自動

作成など、ユーザがいつでもどこでも利用可能な多くのサービスや取り組みが生まれており、金融と IT の融合が進んでいる。

一方で、金融商品やサービスの紹介、販売に関しては、アプリや Web サイトだけで十分な説明義務を果たすことは難しく、これまでの店舗顧客と同様の顧客体験を提供することが必要。

これらの背景から、店舗での対面接客と変わらないオンラインコミュニケーションの実現は、今後の FinTech サービスに必須になっていくと考えられている。

そういった中で、ブイキューブとしては、金融サービスのオムニチャネル化と金融業務のワークスタイル変革を支援していくとしている。

■ポリコムとマイクロソフト:Office365 およ  
び Skype for Business 用ビデオコラボ  
レーションソリューションを拡張

(3月22日)

ポリコム社 (<http://www.polycom.com/>) (米国・カリフォルニア州) とマイクロソフト社 (<https://www.microsoft.com/>) (米国・ワシントン州) は、「Skype for Business」の利用範囲を拡大する計画を発表した。

ポリコム社の会議室用ビデオ会議ソリューション「Polycom RealPresence Group シリーズ」が、Skype for Business Server 認定を取得し、Office365 でサポートされる。Group シリーズは、小規模スペースからイマーシブテレプレゼンス会議室まで、あらゆる会議に

使用できるため、ユーザは Skype for Business を会議室、役員会議室など、あらゆる規模の会議室でも使用できるようになる。

マイクロソフト社が最近発表した「Project Rigel」の一環として、ポリコム社は、Skype for Business 用に設計された会議室用ビデオ会議ソリューションの新しいラインナップを提供する。これにより、プラグ&プレイで簡単にビデオ会議を使用できるようになる。「Polycom CX5100 ユニファイドカンファレンスステーションやグループコラボレーション用スマートハブ「Polycom RealPresence Trio シリーズ」などを含むポリコムソリューションも Project Rigel ソリューション認定を取得する予定となっている。

ポリコムユーザとしてのメリットは、「Microsoft Office 365 および Skype for Business への移行を進める中で、ビデオ会議ソリューションへの既存の投資を引き続き活用することができる。また、マイクロソフトユーザは、新しい環境下で、実績のあるポリコム技術を使用することができる利点がある。さらに、両社が共同開発する新しいクラウドベースのビデオ会議相互運用サービスを使用することにより、他のビデオ会議を使用するユーザとのコラボレーションも可能になるという。

## ■シネックス・インフォテック：大会議室向け上位モデル「Chromebox for meetings Large Conference」の取り扱いを開始

(3月18日)

シネックス・インフォテック株式会社 (<http://www.synnexinfotec.co.jp/>) (東京都江東区) は、グーグルの Chrome OS ベースのテレビ会議システム「Chromebox for meeting」(以下、Cfm) の大会議室向け上位モデル「Chromebox for meetings Large Conference」の取り扱いを開始する。

Cfm Large Conference は、Cfm 本体のほか、PTZ カ

メラ、2台のマイク/スピーカー、リモコン (RF 方式、フル QWERTY キーパッドなど) が付き、デュアルディスプレイに対応している。

本体は、第 5 世代 Intel Core i7 プロセッサ CPU を搭載し、HDMI 端子、Display Port++、USB3.0(x4)、Ethernet、WiFi (802.11 a/b/g/n) などを装備している (AUSU 製/HP 製)。

PTZ カメラはフル HD、90° の広視野角、260° のパン/130° のチルトに対応し、10 倍ロスレスフル HD ズームを搭載している (Logicool 製)。

2台のマイク/スピーカーは、ノイズフィルタリング機能付き全方向性マイクを搭載し、ミュートボタン、通話応答ボタン、音量ボタンなどがある (Jabra 製)。

シネックス・インフォテックは、15 人まで参加できるシステムを一式で、本体が ASUS 製を 258,000 円 (税抜き)、HP 製を 296,000 円 (税抜き) の価格で販売する。なお、ともに初年度ライセンス費用は 35,000 円を含んでいる。

さらに拡張性を求める顧客には、Jabra 製マイク/スピーカーまたはヤマハ製マイク/スピーカー (YVC-1000) を提供する。

販売は、株式会社電算システム、株式会社サテライトオフィス、株式会社 NTT ドコモ、KDDI まとめてオフィス株式会社、株式会社 USEN を代表とする、Cfm 国内認定リセラーを通じて 3 月 23 日より開始する。

Cfm は、2014 年 7 月からフル HD 対応のテレビ会議一式で 150,000 円 (税抜き) で国内発売。マルチデバイスでの会議や Google カレンダーとの連携を図る Google Apps ユーザを中心に発売から販売が伸びているという。昨年末の Cfm 機能のバージョンアップに伴い、異なるドメイン間での利用もできることになり、さらに Google アカウントを持っていないユーザとも接続が可能になったことから、利用の幅が格段に広がった。

このような背景から導入をしていたユーザから大会

議室のシステムのリプレース要望が増えてきたこともあり、Cfm Large Conference を日本で展開することになった。

## 導入・利用動向-国内

### ■VTV ジャパン：MORESCO、アバイア製テレビ会議システムと VTV ジャパンの保守サービスを採用、安定性と信頼性を重視したシステムを構築

(3月24日)

VTV ジャパン株式会社 (<https://www.vtv.co.jp/>) (東京都千代田区) は、株式会社 MORESCO (<http://www.moresco.co.jp/>) (神戸市中央区) へ、アバイア製テレビ会議システム「SCOPIA シリーズ」とテレビ会議保守サポートサービスを提供したと発表。

MORESCO は、特殊潤滑油や合成潤滑油などの化学品の研究開発、製造・販売を行っており、国内に6事業所、海外にグループ会社8社を構えるグローバル企業。

同社では、以前より国内外の営業拠点や研究開発部門との情報共有や、顧客ニーズに沿った製品開発推進を目的にテレビ会議システムを利用していたが、通信の切断や相手先と接続できないなどのトラブルがたびたび発生したため、リプレースを検討することになった。

「安定性」、「信頼性」「高品質」を重視したシステム選定を行った結果、アバイア社の多地点接続装置を中心に据えたテレビ会議システムが採用された。

また、同社は海外拠点とのやりとりが増えていたため、VTV ジャパンの技術者が直接対応するサポートや海外実績の豊富さも採用の大きなポイントになったという。

現在、テレビ会議システムは製品別の開発・販売ミーティングや部門間同士による打ち合わせ、営業会議な

どに幅広く利用されている。PC を使って海外からの会議参加が可能になり、場所を問わずに会議に参加できるようになったことで、業務効率が大きく向上したという。

今後は海外にも接続できる拠点を増やし、テレビ会議システムをコアとしたコミュニケーションインフラをさらに拡張していくとしている。

事例：<https://www.vtv.co.jp/casestudy/list/moresco.html>

## 市場動向-国内

### ■シード・プランニング:国内のビデオコミュニケーションの市場予測レポート発売、2016年に488億円の市場と予測、2015年比107%

株式会社シード・プランニング (<https://www.seedplanning.co.jp/>) (東京都文京区) は、国内のビデオコミュニケーション市場の将来展望に関する調査を実施し、このほどその結果をまとめた。

同社は2004年から調査を始めて、これが第13回のレポートとなる。今回は、既存のVCに加え、新しい動きのひとつであるユニファイドコミュニケーションも網羅し、VCおよびUCにおけるサービス、市場動向、業界動向、各社戦略を掘り下げているという。

主な調査ポイントとして、シード・プランニングは、プレスリリースにおいてビデオ会議・Web会議市場の市場規模とシェアを紹介している。

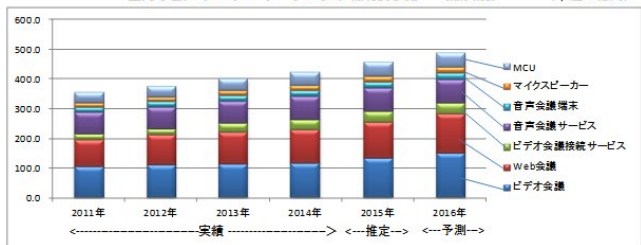
国内のビデオ会議・Web会議・音声会議等のビデオコミュニケーション市場は、2016年には488億円の市場と予測した。これは2015年比で107%増を示す。このうち、ビデオ会議とWeb会議で50%以上を占めるといった結果となっている。

その中で、2015年の国内市場ビデオ会議メーカー別のシェア(推定)は、台数・金額ともに、1位がシステムズ、2位がポリコムとなっている。加えて、

MCU については、1 位がポリコムであった。MCU の市場規模は 2015 年には 48 億円規模（720 台）の市場と推定されている。

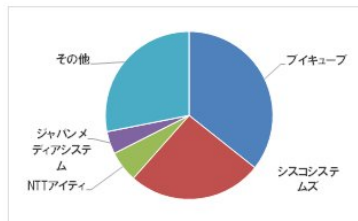
一方、ASP タイプでは、1 位がブイキューブ、2 位がシスコシステムズ、3 位が NTT アイティの順。ASP においては上位 2 社で 5 割以上のシェアを占める。

国内のビデオコミュニケーション市場規模予測 (品目別) (単位: 億円)



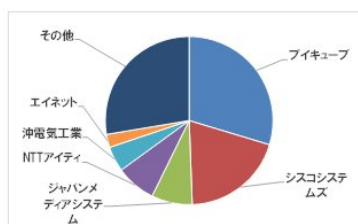
(シード・プランニング作成)

2015 年のメーカーシェア : ASP、金額



(シード・プランニング作成)

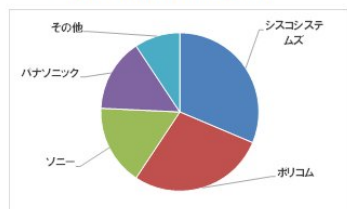
2015 年のメーカーシェア : SI+ASP、金額



(シード・プランニング作成)

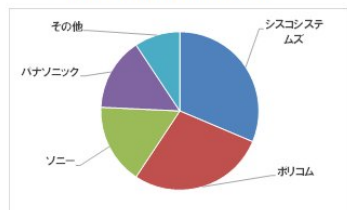
### ビデオコミュニケーション市場 (シード・プランニング)

2015 年のメーカーシェア : 台数



(シード・プランニング作成)

2015 年のメーカーシェア : 金額



(シード・プランニング作成)

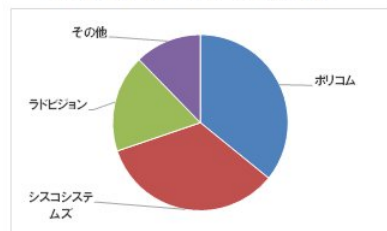
### Web 会議メーカーシェア (シード・プランニング)

SI タイプと ASP タイプの合計では、ブイキューブが引き続き首位で、シスコシステムズ、ジャパンメディアシステムと続く状況。

この調査レポートは、最新研究レポート「2016 ビデオ会議/Web 会議/音声会議/UC 関連製品の最新市場動向～ビデオコミュニケーション (VC) とユニファイドコミュニケーション (UC) の動向～」に詳細をまとめてある。

### ビデオ会議メーカーシェア (シード・プランニング)

2015 年のメーカーシェア : MCU、金額



(シード・プランニング作成)

### MCU メーカーシェア (シード・プランニング)

2015 年の国内市場 Web 会議メーカー別シェアについては、まず SI タイプでは、1 位が沖電気工業、2 位がジャパンメディアシステム、3 位がブイキューブの順。

## Report

### ■ブイキューブ：会議室設置型テレビ会議システム「V-CUBE Box」の設置・操作の“簡単さ”を検証する

※CNA レポート・ジャパン橋本啓介による V-CUBE Box 検証レポート

<http://www.nice2meet.us/ja/learn/difference/evaluate-v-cube-box-by-cna-report-japan.html>



## PR

(広告掲載順)

■株式会社日立ハイテックソリューションズ  
(テレビ会議ソリューション Acano)

<http://www.hitachi-hightech.com/hsl/products/ict/hightech-vision/acano.html/>

■ヤマハ株式会社

(USB スピーカーフォン FLX UC 500)

[http://jp.yamaha.com/products/communication/revolabs/flx\\_uc\\_500/](http://jp.yamaha.com/products/communication/revolabs/flx_uc_500/)

■株式会社メディアプラス

(ビデオプラットフォーム Pexip Infinity、  
VMR 運用ツール VMR オペレータ)

<http://www.mediaplus.co.jp/products/Pexip/>

## セミナー・展示会情報

### <国内>

■V-CUBE Box を体験してみませんか？

日時：2月～6月 ※詳細日程は下記 URL。

会場：東京、名古屋、大阪

主催：株式会社ブイキューブ

詳細・申込：

[https://jp.vcube.com/event/seminar/V-CUBE\\_BOX\\_2016.html](https://jp.vcube.com/event/seminar/V-CUBE_BOX_2016.html)

■「マイクロソフト Skype for Business と ポリコム 最新端末が変えるワークスタイルの変革」

日時：4月11日(月)14:00～17:30 (受付：13:30～)

会場：大塚商会 本社ビル (東京都千代田区)

主催：株式会社大塚商会 本社ビル

協賛：日本マイクロソフト株式会社/ポリコムジャパン株式会社

詳細・申込：<http://event.otsuka-shokai.co.jp/16/0411uc/>

■「比べて納得！Web 会議乗り換え大作戦セミナー」

日時：4月20日(水)・21日(木)・22日(金)

午前の部：10:00～ / 午後の部：15:00～

会場：VTV ジャパン、東京本社・大阪オフィス同時開催

主催：VTV ジャパン株式会社

詳細・申込：<https://www.vtv.co.jp/seminar/1604vtv/>

国内その他：<http://cnar.jp/cna/event-j.html>

海外その他：<http://cnar.jp/cna/event-r.html>

※イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。

CNAR.jp サイトの情報もご参照ください。

## 業界の動き

この定期レポートの発行は月2回ですが、CNA レポート・ジャパンでは、業界の動きに関連した国内外の情報を日々配信・共有しています。よろしければご参照ください。

■フェイスブック (遠隔会議&UC トレンドワッチ)

<https://www.facebook.com/unifiedcom>

■Twitter (CNA レポート・ジャパン)

<https://twitter.com/cnarjapan>

■メーリングリスト (dtc-forum)

<http://cnar.jp/cna/dtcforum-ml.html>

## アーカイブ電子ブック版

>2003年-2013年：

[http://www.catalog-square.co.jp/cna\\_report/](http://www.catalog-square.co.jp/cna_report/)

>2014年-2016年：

[http://www.catalog-square.co.jp/cna\\_ebook/](http://www.catalog-square.co.jp/cna_ebook/)

電子ブック制作：カタログスクウェア株式会社

<http://www.catalog-square.co.jp>

CNAレポート・ジャパン 2016年3月31日号おわり

ホームページ：<http://cnar.jp> お問い合わせ：[cnar@cnar.jp](mailto:cnar@cnar.jp)